

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

2016 YEARBOOK



NO.112

www.jsaf.or.jp



45 

www.45rpm.jp

セーリングは自然、技術、ルールを駆使して、人としての総合力を発揮するスポーツです。

国際セーリング連盟 (World Sailing) はセーリングの特徴を次のように表現しています。

自然の力を利用し

技術はすべてを可能にし

環境に責任をとる

(World Sailing)

JSAFはセーリングの普及・振興・発展のために、今年から毎年日本で開催されることになったセーリングワールドカップや2020年東京オリンピックに向けての活動を契機に、本年をセーリングのより一層の振興、発展を図る飛躍の年と位置づけます。

そのために、スポーツとして、各セーラーの活動、スキルを向上させるとともに、セーリング界の裾野を広げ、安全で快適なスポーツとして、セーリングを発展させたいと思っています。

また、日本セーリング連盟に所属しない一般のセーリング愛好家やセーリング界以外の方々にも広くセーリング及び日本セーリング連盟の活動について普及、啓発するとともに、セーリング及び日本セーリング連盟を応援していただく企業・団体を募ります。



JSAFからのメッセージ

① セーリング・スポーツの発展振興と安全確保

■セーリングワールドカップ蒲郡大会、RS...X世界選手権、470ジュニア世界選手権、テザー級世界選手権など日本で開催される国際大会の成功。アメリカスカップ、ユースアメリカスカップの応援

■小笠原レース、ジャパンカップ、パールレースなど国内の外洋レース、大型艇レースの一層の活性化

■障害者セーリングの発展振興。セーリングワールドカップでのパラリンピック種目の成功、2018年ハンザクラス世界選手権、2020年障害者世界選手権に向けて準備

■ルールの改正の周知。特にコーチ、マネージャー、保護者等の「支援者」のルールの周知

■小型船舶での同乗者のライフジャケット着用義務化に伴う、ライフジャケットの着用推進とコーチボート等の関係船舶の安全管理の徹底

② 2020東京オリンピック・パラリンピックへ向けて

■オリンピックレース運営担当者の人材確保と育成

■オリンピック開催国として、より多くのメダル獲得に向けた選手強化

■オリンピック海域等での各種規制への対応を進める

③ 普及啓発し、セーリング界の裾野を広げる

■JSAFの会員増強に向けてさまざまな策をとる。特に非会員であるセーリング愛好家へ向けてウェブその他の方法での対話を通じた啓蒙活動を通して、会員の増強につなげる

■普及啓発のため女性セーラー参画、海と日本プロジェクト参加、環境コンテンツなどの推進

■ボートショーはじめさまざまな機会にセーリングのプロモーションを行い、セーリング界の外のファンを開拓する

④ セーリング界を支える連盟組織の強化

■公益財団法人としてのガバナンスの強化、コンプライアンスの確保、財政基盤の強化等

■会員・加盟団体に対するサービスの質的向上、会員証の全面電子化

■JSAFホームページのさらなる充実

■セーリングの普及発展に関して各委員会活動の活性化に取り組む

翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。
彼らの頑張りや、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。

彼らのさらなる飛躍を願い、

JALはスポーツの夢を応援します。

日本航空は、東京2020
オリンピック・パラリンピックの
オフィシャルエアライン
パートナーです。



東京2020オフィシャルエアラインパートナー

重要なお知らせです

2017年度 JSAF カード式会員証の廃止と年会費納付の決済代行方式への原則移行について

平成 26 年度 JSAF 会員管理新システム稼働の開始から 2 年が経過し、電子会員証閲覧の条件である会員メールアドレス登録数が増加し、大半の会員が電子会員証の利用が可能な状況となっています。

また、新システム稼働に合わせて開始した JSAF 年会費の決済代行方式（オンライン決済）は、4 つの決済方法（クレジットカード、コンビニ決済、インターネットバンク、ウェブ口座振替）を提供しており、利用者が年々増加しています。

この 4 つの決済方法のうち、クレジットカードとコンビニ決済がご利用者の大半を占めています。その理由には次の 2 点が考えられます。

クレジットカード決済

カード所有者が会員サイトからクレジット決済を行うことで、瞬時に電子会員証を表示できるため、即時性と利便性が非常に高い方法であり、会員証提示が必要なレース直前でも、クレジットカード決済を行うことで即時に大会本部へ会員証を提示することが可能となること。

コンビニ支払い

クレジットカードや銀行口座所有の有無にかかわらず、ジュニア、中学生、高校生セーラーの保護者の方、さらには学校の指導者等の団体代表者による複数会員の会費をまとめて払える機能があること。

この結果、会員並びに関係者の利便性の向上が図れているとのご意見を多数いただいています。

については、平成 29 年度 JSAF カード会員証の発行及び JSAF 年会費支払い方式について、下記の通りといたしますので、ご対応いただけますようお願いいたします。

なお、本件については、すでに平成 28 年 12 月 5 日から JSAF 加盟団体ご担当者へ文書で通知し、また JSAF のホームページで会員各位へも告知していますが、年度更新の時期にあたり改めてお知らせとお願いをするものです。

平成 29 年度 JSAF カード会員証について

- (1) 平成 29 年度以降のカード式会員証は廃止します。
- (2) 電子会員証の利用環境がない等の理由で、印刷された会員証の発行を希望する会員には、現行の電子会員証の PDF 化により加盟団体で印刷・配布が可能となるよう会員管理システムの機能を改善しましたので、各加盟団体でご対応ください。
- (3) 電子会員証の PDF ダウンロード化、発行方式の変更は、平成 28 年 12 月 21 日から開始していますので、ご活用ください。

平成 29 年度 JSAF 年会費支払い方式について

- (1) JSAF 年会費納付方法を、決済代行方式（クレジットカード、コンビニ決済、ネットバンキング、口座振替）へ全面移行します。
- (2) なお、決済代行方式のうち、ウェブ口座振替サービスについては、新規申し込みから会費徴収まで最長 2 カ月間かかります。新規申し込みの方はその期間を考慮の上、ウェブ口座振替サービスをご利用ください。すでにウェブ口座振替サービスで平成 28 年度会費を支払い済みの方に対しては、2 月 27 日に平成 29 年度年会費のウェブ口座振替を自動で実施できるようシステム改善をいたします。

JSAF 加盟団体・特別加盟団体ご担当者様へのお願い

- (1) 決済代行方式を利用すると、JSAF 年会費支払いの簡素化とともに、パソコン、スマホでの決済処理時点で即時に電子会員証の表示が可能となり、会員の皆さんの利便性が向上します（従来方式では JSAF 本部での入金確認後でないで電子会員証の表示がされません）。
- (2) 決済代行方式へ移行すると、カード会員証の廃止によるカード作成、発送コスト、JSAF 本部・加盟団体における発送業務の低減効果と併せて、貴団体ご担当者の JSAF・加盟団体独自年会費徴収、JSAF への入金業務の軽減が図れます。
- (3) JSAF 加盟団体・特別加盟団体に所属する JSAF 会員の皆さんが決裁代行方式を選択しても、JSAF から加盟・特別加盟団体への還付金は引き続き還付されます。会員の利便性向上、加盟団体担当者・JSAF 本部の業務効率向上の観点から、すでに独自の口座引き落としを実施されている加盟団体を除き、決済代行方式への移行について特段のご配慮をお願いします。
- (4) 電子会員証の PDF ダウンロード化、発行方式の変更は、平成 28 年 12 月 21 日から開始していますので、団体固有の会員証裏面への印刷等にご活用ください。具体的利用方法については、団体システムご担当者より JSAF 事務局へお問い合わせをお願いいたします。
- (5) JSAF 会員のメールアドレスの登録については、継続会員においてはまだ行われていないケースが見受けられます。JSAF 本部から会員に対して JSAF ホームページで登録促進を依頼しますが、各団体に所属する JSAF 会員各位に対してメールアドレスの登録要請を継続してお願いいたします。
- (6) 決済代行を利用する場合には、会員管理システム上、JSAF 年会費・加盟団体独自年会費支払い額の設定が必要となります。移行される団体は団体徴収額、還付金返金口座等の情報を JSAF 事務局へご連絡ください。

(JSAF 総務委員会)

起こせ、
日本旋風。



日の丸セーラーズ
SAILING National Team JAPAN



わたしたちは、セーリング日本代表「日の丸セーラーズ」を応援しています。



LUXURY CARD™

YANMAR

JR東日本

KEIKYU



(2017年1月現在)

2016年
8月5日～21日
ブラジル
リオデジャネイロ

リオデジャネイロ・オリンピック報告

必ず次のメダリストは現れる

2016年リオデジャネイロ・オリンピックにおける日本の最高順位は470級女子の5位で、それに次ぐのはRS:X級男子の15位だった。出場艇数の50%以内に入ったのはこの2種目のみで、目標の「2種目でメダル、2種目で入賞」にはほど遠い結果となった。

実力どおりの結果

種目によってレース数は異なるが、規定された10レースまたは12レースが強風から軽風までのコンディションの中で実施された。ほとんどの選手にとって実力どおり、世界ランキングどおりの結果となった。

世界ランキング5位の470級女子吉田愛・吉岡美帆組は、最後までメダルを争って惜しくも逃したもので、残念ではあったがそれなりの結果を出すことができたと言える。

吉田組は惨敗となった過去2回のオリンピックの反省を生かし、リオに照準を合わせて自分のペースに合ったプランを立ててそれを実践し、本番に臨んだことが奏功したと言える。

RS:X級男子の富澤慎選手も、過去2回の経験を踏まえ、リオに対しては微風、軽風に照準を合わせて減量するなどの対応をしたが、必ずしも想定どおりとはならずメダルレースには届かなかった。

レーザーラジアル級の土居愛実選手は、世界ランキング9位というポジションに対して20位と実力を出し切れなかったが、この種目で日本選手の水準がここまで上がったのは画期的なことであり、東京を狙う同選手の活躍には期待していきたい。

470級男子土居一斗・今村公彦組は、海外有力チームとの練習を重ねるなど、良い環境の中でトレーニングをしてきたが、激戦区の中この種目にあつては、もう一歩抜け出ないとメダルには届かないという厳しさを味わった。

その他の種目については、世界の上位水準には到達していない状態で、今回のリオ出場を東京につなげる、という位置づけであった。

必ず次のメダリストは現れる

チーム全体としては、斉藤愛子チームリーダーが毎日のチームリーダーズミーティングに出席し、チームの要の役割を

果たした。それだけでなく、ロジスティクスから気象、現地準備、JOC対応、マスクミ対応などあらゆるマネジメントをこなし、次から次へと起こるリオでの難題をのりきった。



リオ五輪セーリング競技の日本代表選手たち © JSAF

競技会場の近くに借りたアパートで

は、武田哲子管理栄養士が食事を提供し、長期にわたる遠征でもコンディションを維持することができた。吉田・吉岡組がメダルレースに進出したことにより、河野博文JSAF会長はじめ日本人関係者全員でビーチから日の丸を振って応援することができ、チーム一体感を伴って盛り上がったのが、今大会のハイライトであった。

メダルは、10種目30個を17カ国で分け合った。

最多獲得はオーストラリアとニュージーランドの4個である。

アジア勢のメダルは中国のRS:X女子の2位のみで、吉田・吉岡組はアジアではこれに次ぐ成績だった。

世界の最高峰を実感すると、日本がメダルを取るのには至難の業のように思えなくもないが、私たちは日本人の優秀さを信じて、「必ず次のメダリストは現れる」「必ずメダルを獲得する」という信念を持ってトップ選手を育成していかなければならない。(オリンピック強化委員会)

日本選手の成績

470級男子：土居一斗・今村公彦 (アビームコンサルティング・JR九州)	17位
470級女子：吉田愛・吉岡美帆 (ベネッセホールディングス)	5位
49er級男子：牧野幸雄・高橋賢次 (トヨタ自動車東日本)	18位
49erFX級女子：宮川恵子・高野芹奈 (和歌山SC・関西大学)	20位
RS:X級男子：富澤慎 (トヨタ自動車東日本)	15位
RS:X級女子：伊勢田愛 (福井県体育協会)	20位
レーザーラジアル級女子：土居愛実 (慶応義塾大)	20位



YANMAR



Photography: Sam Greenfield / ORACLE TEAM USA

Power to Victory for AMERICA'S CUP 2017



ヤンマーは、前回覇者オラクル・チーム・USAの伴走艇に
マリンエンジンとドライブシステムを提供する“オフィシャルテクニカルパートナー”です。

OFFICIAL TECHNICAL PARTNER OF

ORACLE[®]
TEAM USA

A SUSTAINABLE FUTURE

—— テクノロジーで、新しい豊かさへ。 ——

yanmar.com

2016年
11月19日～20日
福岡市地行浜

Louis Vuitton America's Cup World Series Fukuoka 2016

日本のソフトバンク・チームジャパンは5位

2016年11月19日、20日に行われた本レースは
2017年6月に行われるアメリカズカップの前哨戦&参加艇のお披露目と位置づけられるが、
アメリカズカップにかかわるレースが初めて日本で開催されるとあって、
レース海面目の前に位置する福岡市地行浜には2日間で1万5千人近い観戦者がやってきた。



日本の早福和彦ソフトバンク・チームジャパン総監督 ©J-SAILING

ディフェンダー、チャレンジャーが入り混じってフリートレースを戦う前哨戦だが、本番のアメリカズカップはもちろん1対1のマッチレースで競われる ©J-SAILING

日本チーム、出足好調

19日の第2レース、日本のソフトバンク・チームジャパンがスタートから先行、コース全体をリードして、圧倒的な強さを見せてフィニッシュした。トップ・フィニッシュしたその瞬間、浜辺からは大歓声が沸き起こった。

海上でラッセルクルーズ(アメリカズカップ・イベントオーソリティーCEO)とともにこの日のレースを見ていた植松眞JSAF副会長&アメリカズカップ委員会委員長は、「このレースは他のどんなレースよりもスタートが大切。ソフトバンクの第2レースはその象徴的なレースでした。でも、とても面白いレースですね。とくにフォイリングを始める時と迫力満点。それに、運営もシステマチックになされており、オリンピックを迎える日本のセーリング界にとっても大いに勉強になりますね」とレースの感想を語った。

Land Rover BARが優勝

翌、11月20日に3レースが行われ、この日4-2-3と走ったLand Rover BARが優勝を果たした。初日に1-3-1-2と好走した野金がものを言い、1-1-4と走ったArtemis Racingの猛追をかわしての優勝となった。この結果、Land Rover BARはシリーズ全体(英・ポーツマス、スウェーデン、バミューダ、オマーン、米ニューヨーク、米シカゴ、英ポーツマス、仏、日本の9戦で構成)でも優勝を果たした。

日本のソフトバンク・チームジャパンは福岡大会で総合5位となり、シリーズ全体でも5位となった。同チームの早福和彦総監督兼選手は、「残念な結果でしたが、しかし、最終レースを2位でフィニッシュできたのは良かった。これまでのチームの努力の成果を出すことができました」とレースを総括した。

植松眞JSAF副会長&アメリカズカップ委員会委員長は、「素晴らしい大会でした。選手のパフォーマンスはもとより、レース運営の組織力も素晴らしいと感じました。浜辺で観戦された方々も大いに盛り上がりました。レース後、ケン・リード氏に会いましたが、Land Rover BARのスキッパー、ベン・エインズリーのテクニクを絶賛していました。まだまだ予断は許さないでしょうが、本戦へ向けて英国チームが一步、抜きこんでたとの印象を強く受けました」と早くも、17年5月に始まるLouis Vuitton America's Cup Qualifiersへの展望を語った。

主催者の発表によると、この日レースを見るために福岡市地行浜には8千人近い人々が、そして海上には150艇の観覧艇が集まったという。今までの日本にはなかった風景だろう。本大会でヨットレースの新しい形が披露されたことにより、新たなヨットレース・ファンは確実に増えたはずだ。そして、ソフトバンク・チームジャパンがさらにパフォーマンスを上げて好成績を残し、次のLouis Vuitton America's Cup Qualifiersを面白くしてくれば、日本のセーリング・ファンはもっと増えることだろう。

Louis Vuitton America's Cup World Series 福岡大会 最終成績

- 1位 Land Rover BAR (1-3-2-4-2-3) 75点
- 2位 Artemis Racing(3-4-5-1-1-4) 75点
- 3位 ORACLE TEAM USA (4-2-1-3-3-5) 70点
- 4位 Emirates Team New Zealand(2-5-3-2-4-6) 65点
- 5位 SoftBank Team Japan(5-1-6-5-6-2) 61点
- 6位 Groupama Team France (6-6-4-6-5-1) 59点

Louis Vuitton America's Cup World Series 総合成績

- 1位 Land Rover BAR — 512
- 2位 ORACLE TEAM USA — 493
- 3位 Emirates Team New Zealand — 485
- 4位 Artemis Racing — 466
- 5位 SoftBank Team Japan — 460
- 6位 Groupama Team France — 419

2016年
5月23日～29日
神奈川県三浦郡葉山町
葉山港

ヤンマー国際モス級世界選手権大会 2016

フォイリングブームに火をつけた 国際モス級、葉山で炸裂



上位を独占したイギリス勢。左からロバート・グリーンハウシュ(3位)ポール・グディソン(1位)、クリス・ラシュリー(2位) YANMAR Moth World Championship 2016 © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

近年のセーリングシーンでフォイリング艇が存在感を増している。その先鞭をつけたのが国際モス級だ。全長3.3mの小さなディンギーが海上を疾走する姿はインパクト大。五輪を控える相模湾にモスの大群が飛んだ。



スタートから一斉にフォイリングするモスセーラーたち。GBR4341は優勝したポール・グディソン YANMAR Moth World Championship 2016 © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

ハイレベルかつアットホーム

国際モス級の世界選手権大会が神奈川県葉山町の葉山港をベースに開催された。

15年ぶりに日本で開催されたモスワールドには、11カ国・地域から68人の選手が参加。最もエントリーが多かったのは地元日本勢だが、活動が盛んなオーストラリア、イギリスはもちろん、日本のほぼ裏側に位置するアルゼンチンからも3艇が参加するなど、国際色豊かな大会となった。

残念ながらリオ五輪組の前回、前々回チャンピオンは不参加だったが、全豪、全英、全米、全EUチャンピオンが顔を揃え、さらに五輪メダリストやアメリカズカップセーラーも参加。ワールドと呼ぶにふさわしいハイレベルな戦いが繰り広げられた。また、開会式にはラッセル・クーツが登場するサプライズもあった。

一方、今大会には日本モスクラス協会(後藤浩紀会長)発案のユース支援枠が設けられ、適性試験に合格した八山慎司、矢野伸一郎、山崎あんなの3選手がレンタル艇で出場。高校2年生の山崎(16歳)からモスに乗って半世紀近い橋直美(67歳)や古谷元洋(72歳)まで、幅広い選手層がヨット談義を交わす、モスらしいアットホームな雰囲気も楽しめた。

イギリス勢が表彰台を独占

大会は予備日を含む1週間の日程で行われ、フォイリングぎりぎりの軽風から、ジャンクな強風のサバイバルコンディションまで、全13レースが行われた。

安定した強さを見せたのは、ロバート・グリーンハウシュ(全EUチャンピオン)、クリス・ラシュリー(全英チャンピオン)、ポール・グディソン(北京五輪レーザー級金メダリスト)の3人のイギリス勢。ライバルのオーストラリア

勢と接戦を繰り広げながらも手堅くポイントをまとめ、最終日を待たずに表彰台をほぼ確定させた。

グディソン、ラシュリー、グリーンハウシュでの優勝争いとなった最終日。第1レースのトップは大会中盤にギアトラブルで順位を落としたグリーンハウシュだ。続く第2レースも後続を大きく引き離しリードしていたが、風が落ちてキャプセルとなりあえなくジ・エンド。13レース中11レースを3位以内でフィニッシュしたグディソンが、総合トップを堅守し初のワールドタイトルを獲得した。

「準備が完璧ではなかったが、優勝できてとてもうれしい。コンディションに合わせてレース艇を調整できて、フォイリングするモスのほうがレーザーより楽しいね」とグディソン。2位はラシュリー、猛追及ばなかったグリーンハウシュは3位と、イギリス勢が表彰台を独占した。

レース艇の開発も新しいステージに

表彰台を独占したのはイギリス人セーラーだけではない。3人が乗っていたのはマグワイアボート社(イギリス)の「[i]koc」。2009年以来ワールド7連覇中だったマコナギーボート社(本社オーストラリア・中国工場)の「[i]Match2」を退け、レース艇もイギリス勢が席巻したワールドだった。

日本人トップはワールドに先立って行われた全日本でも優勝した梶本恆平の11位。6人が参加した女子は田畑和歌子(総合37位)、18歳以下のユースは矢野伸一郎(総合43位)が優勝した。

なお、今大会は地域の人たちにも地元国際大会を楽しんでもらおうと観覧艇を用意したが、主催者側の予想を大きく上回る600人以上がレース観戦とシヨートクルージングを満喫していた。(ヤンマー国際モス級世界選手権大会2016実行委員会/西朝子)

2016年
9月16日～24日
和歌山セーリングセンター

2016年 J/24 世界選手権 和歌山大会

優勝はドイツ。2位、3位は日本勢

J/24 世界選手権は2016年9月16日から24日まで和歌山セーリングセンターで開催され、海外11チーム、国内30チームの合計41チームで競われた。



総勢41チームで競われたJ/24世界選手権 2016 WAKAYAMA J/24 World Championship © JUNICHI HIRAI/ BULKHEAD magazine JAPAN

優勝はドイツのJJ ONE

海外11チーム（アメリカ、イギリス、ドイツ、ペルー、シンガポール、韓国）と国内30チームの合計41チームで8レースの熱戦が繰り広げられました。

優勝はドイツの「JJ ONE」チームで2回の1位、2位を含む安定した順位でまとめ、難しいコンディション下のレースを制しました。準優勝は「いちもくさん」チーム、3位に「FOX」チームと日本勢が続きました。

台風が2日目に和歌山を通過し、その日はレースがキャンセルとなりました。台風接近前、通過後は風が抜けてしまいいバフ、ラル、風向とまったり気が抜けないレース海面に各選手は翻弄されていました。元チャンピオンの米国艇も新造

優勝したドイツのJJ ONE チーム 2016 WAKAYAMA J/24 World Championship © JUNICHI HIRAI /BULKHEAD magazine JAPAN

艇に乗るものの、結果は9位に留まる番狂わせが起きました。

楽しんでもらってばかりじゃダメでしょ！

ここで少し大会開催の内幕をご披露したいと思います。

日本での世界選手権大会開催は3度目で今回は14年ぶりの開催でした。この間も多くの日本チームが世界選手権に挑戦してきました。海外のレベルを体感し日本国内にフィードバックすることは国内のセーリング活性化に不可欠で、それなりの効果を発揮していました。

日本J/24クラス協会はさらなる国内再活性化と世界のJ/24セーラーへのホスピタリティ発揮の機会として今回の大会を誘致しました。楽しんでもらってばかりじゃダメでしょ！と。

真の勝者は……

開催の3年前のJ/24クラス協会国際会議で日本開催が決定。それ以前の世界選手権に日本チームが参加し、世界との顔繋ぎができていたことが決定への大きな要因となりました。

それからの仕事が大変で、開催地との打ち合わせ、ジュリーのお願、艇計測体制の確立など多くの方々、協賛各企業のご協力をいただき準備が進んでいきました。

伝統あるワンデザインクラスのJ/24は計測を念に行うためにこの部分での仕事は多く、前々年のニューポート大会に日本人計測員を派遣しワールドレベルの計測を現地体験し、計測機器を最新式に更新して万全を期しました。

世界選手権大会なので実施要項、帆走指示書、公式掲示、ブリーフィングなどすべては英語になります。公平性の観点からも日本語が先行しないように注意しました。

レース運営は、国際レース経験豊富なレースオフィサーが世界レベルのマネジメントと県連との連携の下、完璧な運営を遂行していただきました。レース海面の特性を把握していることで数百メートルの移動でより良い海面を掴むなど神がかったような印象です。

ジュリーのチームはドイツ人、以下アルゼンチン、イタリア、アメリカ、日本（2人）の6人体制でした。

世界選手権を成功させるためのキーポイントとは、ホストとなるヨットクラブです。しかし、日本には欧米型のヨットクラブはなく、今回のレースでも該当するようなクラブはありませんでした。

その機能を果たしたのが和歌山のシエスタチームであり、計測をはじめホスピタリティ面で大活躍していただきました。レースに参加しながらホストとしての活動を行うわけですから、本大会の真の勝者はシエスタであったと言っても過言ではありません。

近年のセーリング競技は画像（動画）でリアルタイムに発信することが当たり前になっており、本大会でもストリーミング放送を実施しました。光の当たり方（逆光、順光）の工夫やケーブルの防水など手さぐりでしたが、今後のセーリング中継でのノウハウ蓄積に貢献したと思います。

徒然と大会報告を書きましたが、閉会式でJSAF会長が触れられた「選手への満足そうな表情」が4年間の大会準備、7日間の大会運営での苦勞を吹き飛ばすものでありました。

何よりも世界選手権大会成功には、JSAF、スポーツ振興基金、日の丸セーラーズ、そして和歌山県、協賛各社のご尽力が不可欠だったことは言うまでもありません。（日本J/24クラス協会・松本浩司）

全日本外洋ヨット選手権大会 Japan Cup 2016

〈サマーガール〉、5度めの優勝

2016年
8月6日～14日
兵庫県西宮市
新西宮ヨットハーバー

外洋ヨットの日本一を決めるジャパンカップは、日本セーリング連盟の単独主催となって2年目を迎える。大会規定に基づき2015年の東海から2016年は関西水域に移り、新西宮ヨットハーバーをベースに2016年8月6日～14日、兵庫県西宮市・新西宮ヨットハーバーで開催された。



5度目の優勝の〈サマーガール〉。不動のメンバーに加え昨年のインビテーションナルカップ以降若手も乗艇する © Kazushige Nakazima



白熱のHP40ft。同36ftクラスも次々に進水しており、ジャパンカップの今後はこのクラスにかかっている © Kazushige Nakazima

精鋭8艇が参加

エントリー締切り時点では開催基準の10艇がなんとか集まったものの、スタートラインに並んだのはわずか8艇。とはいえ、ハイパフォーマンスボートとも呼ばれるカテゴリーの軽排水量40ftレーサー（HP40ft）が4艇揃う充実したフリートで、地元関西からは前回優勝のデیفエンディングチャンピオンである〈スイング〉（鈴木啓介オーナー…ボティン40）と、新艇〈スランジ・バー〉

（中島光司オーナー…カー40±）。関東からは2014年2位、15年6位と続けて出場の〈エスプリ〉（河本二郎オーナー…カーキーク40 Mk2 GP）。さらに福岡からは13年に3位に入っている〈ギャラクシー〉（松嶋哲哉オーナー…カーキーク40 GP）が艇を新たにしている再挑戦。それぞれデザインはわずかに異なるがハンディキャップはほぼ同じ、乗員の技量も互角と、ここ何年かジャパンカップで見ることのなかった競技性の高いフリートとなった。

最終日もインシヨアレースが2レース。これで全8レースが成立したが、〈サマーガール〉はここでも1-1と圧倒的なスコアで総合優勝を飾る。総合2位は〈イレジスティブル〉が最終日を2-2とときっちり決めて再び逆転。3位以下を突き放した。激戦となったHP40ft艇団は、〈ギャラクシー〉が僅差で逃げ切り総合3位。続く3艇も大接戦となり、HP40ft艇団のこの先が楽しみな幕切れとなった。

この後足4艇を迎え撃つのが〈サマーガール〉（馬場益弘オーナー…ファースト40・7改）。昨年は米国ニューポートで開催されたニューヨークヨットクラブ・インビテーションナルカップ出場のためジャパンカップには出場しなかったが、12年の蒲郡大会、13年の西宮大会と、直近5年では出場したレースすべてで優勝しており、こちらもデیفエンディングチャンピオンといつていい。

2017年は、大会規定に基づき関東水域で夏、開催される予定だ。（レポーター／高槻和宏）

さらに、地元関西の〈イレジスティブル〉（山田邦雄オーナー…キング40）は元関東の〈からす〉として14年には優勝している艇で、今回はその〈からす〉の主要クルーも助っ人として乗艇している。

加えて、福岡から遠征の〈マロロ〉（佐藤栄一オーナー…ファースト40）。地元関西の〈ノイエローブ〉（藤井英喜オーナー…メルジェス32）と、わずか8艇ながら、ざれと8艇、中身の濃い構成となった。

17年は関東水域で開催予定

大会初日は軽風下にインシヨアレース、2日目は後半シブリーズが入る良い風の中3レースと、競技は順調に進む。やはりHP40ftのスピードは抜きんでおり、4艇は折り重なるようにマークを回航していく。そんな先行艇団の白熱し

■ジャパンカップ2016成績

順位	艇名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1位	〈Summer Girl〉	(2)-	1-	1-	1-	1-	1-	1-	1	7
2位	〈Irresistible X〉	1-	(6)-	2-	2-	2-	8-	2-	2	19
3位	〈GALAXY〉	4-	2-	3-	6.5-	3-	2-	(7)-	7	27.5
4位	〈ESPRIT〉	3-	4-	(6)-	5-	4-	4-	3-	5	28
5位	〈swing〉	6-	3-	4-	3-	(7)-	6-	4-	3	29
6位	〈Slainte mhath〉	(5)-	5-	5-	4-	5-	5-	5-	4	33
7位	〈MALOLO〉	(7)-	7-	7-	6.5-	6-	3-	6-	6	41.5
8位	〈neurove〉	8-	8-	8-	DNC-	8-	4-	8-	8	55

（*第6レースのコースタルレースの得点は除外できない。修正同タイムの場合は得点を按分したもの）

2016年
7月29日～31日
三重県南伊勢町
五ヶ所湾～神奈川県
藤沢市 江の島

第57回パールレース 目指すのは、 どんな艇でも参加できるヨットレース

第57回パールレースは51艇のエントリーがあり、夏のレースを楽しもうとする外洋艇が三重県南伊勢町・五ヶ所湾に集まりました。



恒例の前夜祭終了時の集合写真 (写真提供/レース実行委員会)



IRC部門の総合優勝は〈NOFUZO〉(写真提供/レース実行委員会)

50艇を超えるエントリー

50艇を超えるエントリーは久々のことです。最終的には1艇がプロペラの不具合で回航できず、結果50艇のスタートとなりました。

7月29日11時、南東4〜5m/sの風を受け、布瀬田水道南の暗礁帯先をめぐって、上下ほぼイーブンなスタートとなり、左海面の半島沿いに向かう艇、右海面の沖出しをする艇と大きく分かれま

した。
レースフリートは引き続き南東の風を受け、片上りで一路、利島を目指しましたが、利島回航では弱い風の中、潮の流れ

の影響に苦勞した艇が多くあったようです。

結果や各艇の航跡は、ホームページに掲載した「どこでもヨットレース」でご覧ください。レース海域は終始上りの風で、全般に涼しく、熱中症の心配のないレースでした。

初参加の艇が10艇ありました。また西は長崎からはるばる回航してきた艇、東は仙台・宮城から参加した遠来艇、新たな艇を購入しての参加したチームなど、最新デザインの艇から、船齢の長いベテラン艇など、「パールレース」の目指す、どのような艇でも参加できるヨットレースとなりました。しかし、最新艇でもベテラン艇でも簡単に勝てるレースではありません。

参加艇の乗員データ

エントリーした51艇の乗員数は、ダブルハンド部門が4艇8人、IRC部門が47艇397人、合計参加者数405人。1艇の平均乗員数は7.9人で昨年の8.2人とほぼ同じです。

乗員の平均年齢は52.2歳、昨年の平均49.9歳から少し上がりましたが、意外に若いのではとの印象です。年代分布は以下のとおりです。

- 50代..40.0%
- 60代..27.2%
- 40代..25.4%
- 30代..8.6%
- 20代..3.2%
- 70代..2.2%

最高齢は73歳のベテランが活躍されました。一番若い方は20歳でした。

年代には一つの傾向があるのではと思います。オーナーはじめクルーがみな仕事のリタイアの時期を迎え、「絶好のチャンス」か「まだ動けるうちに」との気持ちでチャレンジした艇もあると思います。

IRC部門の総合優勝は〈NOFUZO〉(X40D・JPN6301)・高畑 慎次オーナー、外洋内海所属)でした。乗員の平均年齢は51.7歳、今回で三回目のパールレース総合優勝です。「さらに四回目の優勝を目指す」とのオーナーの力強いコメントがありました。(I121TREKKEE)(MUR 40・JPN1122) (Joker) (X41・JPN6687)と終始トップ争いを続けての勝利でした。

ダブルハンド部門優勝は〈Theis〉(First 407・JPN 380) 児玉 萬平オーナー、外洋三浦所属)の乗員の平均年齢は57.5歳。沖繩・東海ヨットレースにも参加した実績の下、今回で5回目の優勝です。

2017年は7月28日にスタート予定

歴史あるパールレースを始めとする「外洋レースを続けていく努力をしていこう」との、外洋三崎・新田会長のコメントに同感です。引き続き「パールレース」をしつかりと開催できるよう、外洋東海、外洋湘南ともに努めたいと思います。

2018年〜2020年までの間、東京オリンピックおよび関連するレースが江の島で開催される予定があり、その影響で向こう3年間の開催場所が未確定ですが、レースの時期から台風対策も含めて、安全なレースができるよう検討していきたいと思っています。

基本的にパールレースのスケジュールは、8月の他のレース・イベントと重ならないよう、7月中に表彰式も終了することとしています。今回のパールレースは、17年7月27日に出版申告・艇長会議、7月28日にスタート、7月30日に表彰式というスケジュールで開催する予定です。(第57回パールレース実行委員長・河内道夫)

2016年
10月2日～5日
岩手県宮古市
リアスハーバー宮古

第71回国民体育大会セーリング競技会 広げよう感動。伝えよう感謝。

第71回国民体育大会「2016 希望郷いわて国体」セーリング競技は、「広げよう感動。伝えよう感謝。」をスローガンに10月2日～5日、宮古市の「リアスハーバー宮古」で開催された。岩手県で昭和45年以来46年ぶりに開催する国体だ。



会場で解説付き映像を流すためにスタッフは奮戦



無料託児所「チャイルドルーム」は好評だった



「エコバックの製作」には多くの市民が親子連れで参加した

震災復興

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、リアスハーバー宮古は津波により甚大な被害を受け、国体開催も危ぶまれる状況であった。津波の浸水時の深さは地上より約9m余りにもなったという。震災後、岩手県及び宮古市は復興を着実に進めクラブハウス、艇庫を新設して国民体育大会セーリング競技を開催する運びとなった。

9月30日から計測がスタートし、10月1日の午後からはトライアルレースが行われたが、風も弱く宮古湾特有の風の振れが大きく、海上運営本部のレース委員会は苦勞していた。

大会1日目

10月2日からA海面は成年男子470級、B海面は成年男子国体ウインドサーフィン級がスタートし、北東の風7、8ノットで風が弱く大きく触れる中、A海面は予定どおり10レース、B海面は8レースが行われ、成年女子、少年女子レーザージャイアル級以外は各種目2レースが行われ大会として各種目が初日に1レース以上実施でき、大会は成立した。

大会2日目

10月3日、風は南西の風7、10ノットで風の振れが大きい中、A海面は9レース、B海面は7レースを実施した。とくにB海面は宮古湾の奥で風が弱く安定しないため、レースを実施することができない状況となってきたことから、大会3日目は成年女子・少年女子のレーザージャイアル級をA海面で実施することとした。

大会4日目（最終日）

大会4日目の最終日10月5日も風が弱く安定しないため、成年女子SS級、レーザージャイアル級、少年女子420級、レー

ザージャイアル級は中止となった。この結果、予定していた60レース中、56レースを本大会は実施した。

レース観戦とおもてなしの工夫

GPSをレース艇に取付けレース艇の航跡がPC、タブレット、スマホで確認でき、リアルタイムなレースが観戦できる方法を導入した。また、併せて海上・陸上から撮影を行い、臨場感あふれるレース内容を解説付き映像で会場に流し、セーリング競技を少しでも市民に理解してもらおう「イベント事業」とした。

JSAFレディーズ委員会の無料託児所「チャイルドルーム」は、選手から安心して大会に出られると喜ばれ、メディアからも注目され新聞で報道もされた。またJSAF環境委員会が実施した不要になったセイルを再利用してバックを作る「エコバックの製作」には多くの市民が親子連れで参加していた。

おもてなしコーナーでは宮古市郷土料理「ひつつみ汁」「秋刀魚つみれ汁」が振る舞われ長蛇の列ができた。

天皇杯・皇后杯成績

男女総合成績天皇杯、女子総合成績皇后杯とも山口県が総合優勝し、岩手県は天皇杯7位、皇后杯は8位の成績を収めた。

震災後の国体開催のお礼

大震災により一時は国体開催を中止及び縮小するなど日体協で検討されました。しかし、「東日本大震災復興の架け橋」として岩手県民が一丸となって「2016希望郷いわて国体」を開催できましたことについて、岩手県、宮古市実行委員会、岩手県ヨット連盟を始め地元関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。（JSAF国体委員会副委員長／森信和 写真提供筆者）

江ノ島オリンピックウィーク 2016

一気に国際レースに変貌

大会サイト <http://www.jeow.org/>



2016 ENOSHIMA OLYMPIC WEEK ©JUNICHI HIRAI/BULKHEAD magazine JAPAN

2016年
10月13日～16日
神奈川県・江ノ島

ハーバー内のヨットハウスの廊下やロビーは海外からの選手であふれていました。2016年以降、日本では数多くのセーリング競技が開催される予定ですが、ジュニア、ユースの選手がトップ選手と同じレースに出ることができるようは江ノ島オリンピックウィークだけ。しかも、ASA F (アジアセーリング連盟) カップの1戦となっているので、今後も活発なレースになることでしょう。

2016年10月13日～16日にかけて、江ノ島オリンピックウィークが神奈川県・江ノ島で行われました。16カ国から180艇以上の参加を得て一気に国際レースになり、2020年へ向けて新たなスタートを切りました。レースにはエントリーせず、東京五輪のセーリング競技会場の下見を目的としてやってきたデンマーク、アイルランド、オーストラリアなどもありました。

10クラスの優勝者は6カ国の選手で構成されました。

470男子

優勝したのは今村亮／外蘭潤平チーム、2位は磯崎哲也／高柳彬チームで、この2チームはJSA F ナショナルチーム入りを果たしました。470のジュニアワールドが2017年8月に江ノ島で開催される予定です。

470女子

1位 Sophie Weguelin / Elith Meinlyre (イギリス)、2位 Wang Xiaoli / Li Zhu Huang (中国)、3位 Shasha Chen / Haiyan Gao (中国) と、外国勢が表彰台を独占しました。一方、今回レースに参加しなかった吉田愛選手は、東京五輪を目指して活動を継続することでした。

RS:X男子

RS:X世界選手権が2017年9月に江ノ島で開催される予定です。今回、江ノ島の海を走った海外選手は大きなアドバンテージになるでしょう。1位となったのはオランダの Kiran Badloe、Kieran Holmes、Martin と Tom Squires の2人の英国人選手を抑えての優勝です。

RS:X女子

Tuuli Petaja-Siren (フィンランド) がわずかに1ポイント差で Isabel Hamilton (イギリス) をかわして優勝しました。日本の小嶺恵美が3位です。

レーザー

レーザーは1位 Matt Wearn (オーストラリア)、2位 Lorenzo Chiavardini (イギリス)、3位 Christopher Barnard (アメリカ) と3カ国でトップ3を分け合いました。

レーザーラジアル

中国の Dongshuang Zhang が優勝。彼女はリオ五輪の中国代表にはなれず、早くから2020東京に照準を当てて

活動しています。リオの金メダリスト Marit Boumeester (オランダ) が2位。

3位は中国の Min Gu です。ロンドン&リオ五輪日本代表の土居愛実選手は大学が忙しく、リオ以降セーリングしたのはいったの1日。大学卒業後は、オリンピックに向けて活動を加速させます。

49er

イギリス、オマーン、日本の3カ国6艇の戦い。オマーンは自艇を持ち込んでの参加でした。Dylan Fletcher / Stuart Bithell (イギリス) が優勝。2位には高橋稜・小泉維吹が入り、ナショナルチーム入りを確定させました。

49er FX

シンガポール1艇、日本2艇の3艇での戦いでした。優勝は波多江慶／板倉広佳、2位 Kimberly Lim / Cecilia Low、3位松苗幸希／Yuri Saito でした。

420

23艇で競われたこのクラスですが、唯一の外国チーム、マレーシアの Muhammad Uzair Amin / Mohd Yusof が優勝しました。アジア水域で普及しているこのクラス、江ノ島オリンピックウィークにもっともっと参加艇が増えることを期待します。

レーザー4.7

日本の18艇(女子8艇、男子10艇)で競われました。1位は菅沼汐音(女子)、2位 須河内翔、3位 桐井航汰がトップ3でした。

2017年の江ノ島オリンピックウィークは、蒲郡のセーリングワールドカップ後の10月下旬に開催される予定です。その頃には江ノ島の施設もさらに充実している予定です。前述の470ジュニアワールド(8月)、RS:Xワールド(9月)を控え、さらに江ノ島は賑やかになります。(レポート／齋藤愛子)

HARKEN®
<http://harken.jp/>

MOL

商船三井

www.mol.co.jp



舵を切れ。次の未来へ。

商船三井は、世界有数の規模を持つ船隊と、徹底した安全運航で、
多彩な輸送ニーズに応える総合輸送グループです。

創業以来130年以上の時を経たいま、変革を通じた確かな成長をめざしています。

世界経済のさらなる発展に貢献するために。

私たち一人一人が力を合わせて、次の未来に向かって大きく舵を切り、
強くしなやかに世界の海運をリードしてまいります。

CATCH THE WIND

YAMAHA
SAILING CRUISER
&
DINGHY SERIES



●お問い合わせは.....
○ディンギーヨット／オクムラボート販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>
○クルザーヨット／ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>



GO BEYOND™

2016 470 Class Results

2016 Rio

470 Men Results

- 1 AUS Mathew Belcher/William Ryan
- 2 GRE Panagiotis Mantis/Pavlos Kagialis
- 3 USA Stuart Mcnay/David Hughes
- 4 GBR Luke Patience/Chris Grube
- 5 SWE Anton Dahlberg/Fredrik Bergström
- 6 AUT Matthias Schmid/Florian Reichstädter
- 7 SUI Yannick Brauchli/Romuald Hausser
- 8 NZL Paul Snow-Hansen/Daniel Willcox

470 Women Results

- 1 GBR Hannah Mills/Saskia Clark
- 2 NZL Jo Aleh/Polly Powrie
- 3 FRA Camille Lecointre /Hélène Defrance*
- 4 NED Afrodite Zegers/Anneloes van Veen
- 5 JPN Ai Kondo Yoshida/Miho Yoshioka
- 6 SLO Tina Mrak/Veronika Macarol
- 7 USA Anne Haeger/Briana Provancha*
- 8 BRA Fernanda Oliveira/Ana Luiza Barbachan
- 9 AUT Lara Vadlau/Jolanta Ogar
- 10 POL Agnieszka Skrzypulec/Irmina Gliszczynska

Hannah Mills/Saskia Clark GBR

信頼の証し

THE SAILMAKER OF CHOICE...

2016 Princess Sofia

470 Mens Results

- 1 AUS 11 Mathew Belcher / Will Ryan
- 2 USA 1713 Stu MCNAY / Dave HUGHES
- 3 GRE 1 Panagiotis Mantis / Pavlos Kagialis
- 4 GBR 863 Luke Patience / Chris Grube
- 5 GRE 165 Panagiotis Kampouridis / Efstathios Papadopoulos
- 6 RUS 5 Pavel Sozykin / Denis Gribanov
- 7 SWE 349 Anton Dahlberg Dahlberg / Fredrik Bergstrom
- 8 JPN 11 Kazuto DOI/ Kimihiko IMAMURA

470 Womens Results

- 1 POL 11 Agnieszka Skrzypulec / Irmina Mrozek Gliszczynska
- 2 BRA 117 Fernanda Oliveira / Ana Barbachan*
- 3 GBR 865 Amy Seabright / Anna Carpenter
- 4 JPN 1 Ai Yoshida Miiho Yoshioka
- 5 NED 216 Afrodite Kyranakou / Anneloes Van Veen
- 6 SLO 64 Tina Mrak / Veronika Macarol
- 7 AUS 99 Carrie Smith / Jaime Ryan
- 8 CHN 1221 Xiaoli Wang / Lizhu Huang
- 9 ISR 311 Gil Cohen / Nina Amir
- 10 NED 6 Michelle Broekhuizen / Marieke Jongens

*-partial inventory

2016 470 Worlds

470 Mens Results

- 1 NZL 2 Paul Snow-Hansen / Daniel Willcox
- 2 AUS 11 Mathew Belcher / Will Ryan
- 3 GBR 868 Luke Patience / Chris Grube
- 4 GER 10 Ferdinand Gerz / Oliver Szymaski*
- 5 GRE 1 Panagiotis Mantis / Pavlos Kagialis
- 6 SWE 349 Anton Dahlberg/Fredrik Bergström

470 Womens Results

- 1 FRA 9 Camille Lecointre / Hélène Defrance*
- 2 NZL 75 Jo ALEH / Polly POWRIE
- 3 AUT 3 Lara Vadlau / Jolanta Ogar
- 4 BRA 177 Fernanda Oliveira / Ana Barbachan*
- 5 POL 11 Agnieszka Skrzypulec /Irmina Mrozek Gliszczynska
- 6 USA 1712 Annie Haeger / Briana Provancha*
- 7 CHN 1221 Xiaoli Wang / Lizhu Huang
- 8 USA 88 Sydney Bolger / Carly Shevitz
- 9 NED 216 Afrodite Kyranakou / Anneloes Van Veen
- 10 ESP 14 Bàrbara Cornudella Ravetllat / Sara López Ravetllat

Mathew Belcher / Will Ryan AUS

本社・横浜ロフト 045-770-5666

関西ロフト 0798-26-7771

北海道ロフト 0134-25-3227

2016年

4月29日～5月8日

沖縄県宜野湾市
宜野湾港マリーナ沖～
愛知県蒲郡市
ラグナマリーナ沖

沖縄—東海ヨットレース 2016

〈Joker〉が優勝！

本レースの公示発表の時点、参加艇数が読めない中、実行委員会としてはレースの継続開催を第一目標とし、大会開催条件に艇数制限を設けず船出をしました。参加艇数は前回の13艇から5艇という大幅な減少になり、経費面では厳しい状況でしたが、知恵を出し合いながら「実行委員会丸」も何とかフィニッシュすることができました。

沖縄—東海ヨットレース 2016 成績

Line Honora 賞	〈KLC Bengal 7〉	3d 21h 24m 34s
Best Amateur 賞	〈有朋丸〉	5d 2h 49m 54s
優勝	〈Joker〉	4d 6h 55m 31s
準優勝	〈1122 TREKKEE〉	4d 7h 2m 36s
3位	〈Monday Night〉	4d 4h 40m 39s



沖縄—東海ヨットレース 2016 のスタート後の1シーン ©Kazushige Nakazima

思い出作りのお手伝いができるように……

参加艇は常連参加の〈1122トレッキー〉(ミューワー40)、〈ベンガル7〉(ハンフリー54)、新艇での参加〈マンデーナイト〉(クラス40)の3艇と初参加の〈ジョーカー〉(X41)及び〈有朋丸〉(ベネトウファースト34・7)によるレースとなった。

スタートラインは宜野湾マリーナを出てすぐの所だが、スタート当日は前夜から北西の冷たい風が吹き続き、7～8

メートルの風と2メートルほどのうねりがあり、本部船の固定に苦労したものの、全艇4月29日12時に予定どおりクローズホールドでスタートした。

まずはタックを繰り返して残波岬に向い伊江島の間を通り抜ける。大きさの順に〈ベンガル7〉、40フィートの3艇、〈有朋丸〉という3グループに分かれて走る形となった。

与論島から徳之島の間は全艇が微風につかまりスローペースとなるが、その後ラムラインを順調に走る。〈ベンガル7〉が93時間ほどで走り切りラインオンナードでフィニッシュする。

その頃40フィートクラスの3艇は80マイルほど後方の熊野沖を、またその100マイル後方の室戸岬沖を〈有朋丸〉が続く。その後3艇の中から〈マンデーナイト〉が抜け出してフィニッシュした。後続の〈ジョーカー〉と〈トレッキー〉

は神島付近からシヨートルレースのような激しい競り合いを展開したが、7分ほど差をつけた〈ジョーカー〉に軍配が上った。この頃の〈有朋丸〉の位置はフィニッシュまで115マイルほどの申本の沖合あたりだった。

4日の未明頃から大型低気圧が〈有朋丸〉を巻き込むように通過したが、レース本部の心配をよそに、それをモノともせず無事に大荒れの海を走り切り1222時間49分でフィニッシュした。

720マイルのレースでそれぞれの艇でさまざまな忘れられないドラマがあったに違いないが、何よりも全艇無事にフィニッシュできたことを関係者の皆様と共に喜び、このレースに協力いただいた方々に感謝いたします。

今後も実行委員会では参加者の皆様の思い出作りのお手伝いができるよう努力していきたいと思っています。(レース実行委員長／大島茂樹)

Vendee Globe 白石康次郎さん 惜しくもリタイア

JSAF はアジア人として初めて Vendee Globe (単独無寄港無補給世界一周ヨットレース) に挑戦した白石康次郎さんを応援していました。

白石さんは2016年11月6日にフランスのレ・サール・ドロンヌを順調にスタートしたものの、12月4日、南緯40度、東経15度付近を帆走中に突然のマストトラブルに見舞われました。

当時は45ノット近くの風が吹いており、3ポイントリーフとステイスルという状態でした。突然、艇外で異音がしたのでキャビンから外へ出て空を見上げると、マストが折れていました。大きな衝撃があったわ

けでも、すごい突風が吹いたわけでもなく、何の予兆もなく折れてしまった、という状況だったことです。

幸い白石さんにケガはなく、しかしこの状態ではレースを続行するのは不可能と判断し、ジュリーリーグをセットし、最も近い港である南アフリカのケープタウンへ向かい、最終的にレースからのリタイアを決定したとのこと。

今回は残念な結果となりましたが、白石さんは早くも2020年大会の挑戦を視野に置き、活動を開始しているそうです。

(J-SAILING 編集部)



2017 Quantum Key West Race Week

- ・TP52 - 1, 2 上位2艇含む4艇使用
- ・J/111 - 2
- ・J/70 - 2
- ・C&C 30 - 1, 2, 3
- ・J/88 - 1, 3
- ・ORC - 3

2016 Melges32 世界選手権

- ・1, 2 2年連続優勝

2016 Farr 40 OD 世界選手権

- ・1, 2, 3, 4 2年連続優勝

2016 Maxi72 世界選手権

- ・1 他多数

**業界最高峰の圧着技術を用い、
驚くほどの長寿命と、
安定したスピードを約束します。**
iQテクノロジーが艇種を問わず
最適なセイルシェイプを作り上げます。

クァンタム・セイルズ
www.wattsmarine.jp

冬期キャンペーン実施中!!
2017年3月末まで

新規セイル、セイル修理、ロープ&艦装品、
マストを含むリグメンテナンス等。
お気軽にご相談下さい。

(株) セイルズ・パイ・ワッツ・ジャパン
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町8-40
電話：046-882-5451 Fax：046-882-4319

関西営業所
〒662-0933 兵庫県西宮市西波止町1-2
マリンスクエア M-1
電話 & Fax：0798-23-6410

小笠原ヨットレース、12年ぶりに復活！



小笠原ヨットレース2017のポスター

小笠原ヨットレースが2017年のゴールデンウィークに復活することになりました(主催：JSAF 外洋三崎)。前回の開催は2005年で、実に12年ぶりのレースとなります。

小笠原諸島の父島二見湾をスタートし、本州に向かって北上、三浦半島小網代沖をフィニッシュとする500マイルの長旅です。コースの大半を占める父島から八丈島までのエリアに島はなく、見渡す限りの大海原。外洋ヨットならではのセーリングの醍醐味を感じることのできる、文字通りの「オフショア」ロングレースといえます。

2018年に小笠原は返還50周年を迎えますが、本レースは「小笠原諸島返還50周年記念事業」の一

つとして位置付けられています。体験セーリングなど、島の人たちも一緒になって楽しめるイベントを多数準備しています。また、レース艇には、独自に開発を進めている「トラッキングシステム」を搭載し、レース中は、ほぼリアルタイムで陸上でもレースを楽しめるようになる予定です。

海外から100ft マキシムエントリーという情報もあり、盛り上がりを見せることは間違いありません。(小笠原ヨットレース実行委員会)

●日程

5月2日 父島・二見湾スタート

※1日に前夜祭(父島)、7日に表彰パーティ(三浦)を開催予定。タイムリミットは設けない。

●コース

父島・二見湾→三浦半島・小網代沖(500マイル)

●部門

IRC、ORC(いずれもフルクルークラスとショートハンドクラス)

問い合わせ先

小笠原ヨットレース2017 実行委員会

E-mail: 2017ogasawara@misaki-ocean.jp

http://ogasawara.yacht-race.jp/

https://www.facebook.com/ogasawara2017/

セーリングワールドカップが 日本で開催！

国際セーリング連盟(ワールドセーリング)とJSAF(日本セーリング連盟)が主催するセーリングワールドカップの日本大会が2017年、18年、19年、20年に蒲郡と江ノ島でで開催されます。

競技種目はオリンピック種目の470級、49er級、49er FX級、レーザー級、レーザーラジアル級、RS:X級、ナクラ級、フィン級そしてパラリンピック種目の2.4クラスの9艇種13種目です。

過去の実績から、各大会とも30カ国、370艇、300~420人ほどの参加規模になると推測されています。また、2020年は7月に神奈川県江ノ島での開催が予定されており、オリンピック開催を間近に控える時期とあって多くの選手がやってくると予想されます。

ワールドカップの日本開催は選手強化という目的はもとより、レース運営スタッフを実践の場で育てるという目的があり、そしてセーリングというスポーツ競技を広く一般の方々に知っていただく絶好の機会です。

そしてこのワールドカップ日本大会を成功させるためには当該クラス協会、開催地の県連盟、ヨット関係者、県・市などの行政担当者、スポンサー、ボランティアのご支援、ご協力が不可欠です。

すでにボランティアにはおよそ600人の方々に登録いただき、運営に欠かせないインフラサポートのご提供の申し出もいただいておりますが、さらなる皆様のご協力を仰ぐ次第です。(JSAFオリンピック・パラリンピック準備委員会)

ワールドカップ日本大会開催予定

2017年 10月15日~22日

愛知県蒲郡市豊田自動織機海陽ヨットハーバー

2018年 10月

神奈川県藤沢市江ノ島ヨットハーバー

2019年 10月

神奈川県藤沢市江ノ島ヨットハーバー

2020年 7月

神奈川県藤沢市江ノ島ヨットハーバー



2017セーリングワールドカップ(マイアミ大会)の470級男子で銀メダルとなった磯崎哲也・高柳彬チーム。日本大会でもこんなシーンが見られそうだ © Pedro Martinez/Sailing Energy/World Sailing

夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します!

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、
インド洋の楽園 セーシェルへのリゾートツアー、
障害者スポーツの海外派遣、
フランスへの個人語学留学の手配、
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリアツアーズ** TEL:03-6661-9080 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

病院
北柏リハビリ総合病院(247床)

クリニック
西浦眼科
まちや外科内科
梅郷整形外科クリニック(13床)
天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック

介護老人福祉施設
みゆきの郷(120床)
流山こまぎ安心館(110床)
かしわ安心館(110床)

健診センター
柏健診クリニック
汐留健診クリニック

介護老人保健施設
梅郷ナーシングセンター(124床)
北柏ナーシングケアセンター(120床)

訪問看護
北柏訪問看護ステーション

在宅介護・福祉用具
エンゼル・サービス柏
(訪問介護・介護ショップ・在宅介護支援)

**「感謝な心」で
信頼の医療サービスを
ご提供いたします**

研究
日本成人保健医療問題研究所

住宅介護支援
梅郷ナーシング居宅介護支援事業所
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所
居宅介護支援センターみゆき
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館
居宅介護支援事業所 かしわ安心館

天宣会グループ 〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1
TEL.04-7167-6667 (代表)

医療法人社団 天宣会 | 社会福祉法人 天宣会 | 株式会社 日本エフピー総合企画

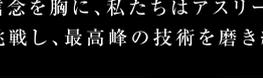













ひとりひとりの 「頂点」に、 共に挑戦する。

“技術は頂点で磨かれる”。
この信念を胸に、私たちはアスリートと
共に挑戦し、最高峰の技術を磨き続けます。

※掲載選手およびチームの所属は2016年12月現在

mizuno.jp 0120-320-799



毎月
5日
発売

日本と世界の海の最新情報

ヨット・モーターボートの雑誌

Kazi

●A4判 / 208~224ページ ●定価: 本体1,048円+税

<http://www.kazi.co.jp/>

<https://www.facebook.com/kazi1932>

お問い合わせ: 舵社 販売部

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17 ストックベル浜松町3F

TEL 03-3434-4531

●全国書店でお買い求めいただくか、弊社販売部まで、ご注文ください。

リオデジャネイロ選手強化 協賛社



関西ヨットクラブ



株式会社 丸玉運送



巴工業株式会社



ラジエ工業(株)



佐渡産コシガハ「未来と暮らす画」



環境キャンペーン 協賛社



JFE



外洋キャンペーン 協賛社

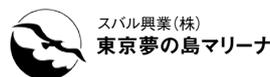
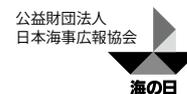


TAFCO

平成28年度賛助会員



日建リース工業株式会社



NO.112

J-SAILING 2016年度版イヤーズブックをお届けします。2016年度は本誌掲載のように様々なレースが行われましたが、2017年度もワールドカップをはじめ、東京オリンピックに向けて多くの国際レースが日本で開催されます。また、6月にはアメリカズカップも行われます。ビッグイベントが目撃の2017年度ですが、セーリングを安全に楽しみましょう。

J-SAILING No.112 平成29年3月1日発行 通巻466号

発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414 E-MAIL head@jsaf.or.jp

発行人/河野博文 編集人/柳澤康信 エディター/豊崎謙 デザイナー/松岡雅子

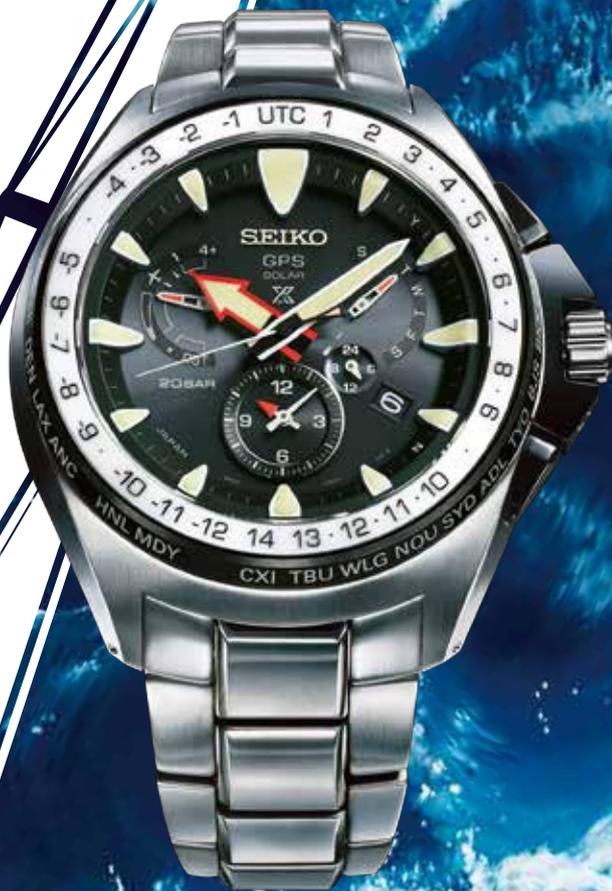
定価/300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)

www.jsaf.or.jp/hp

GPS®の 帆を上げる。

一瞬の判断が命運を分ける、
極限状態のヨットレース。
地球のどこにいても正確な時刻が、
プロセイラーをゴールへと導く。
セイコープロスペックス、
ついにGPSソーラーを搭載。

地球が鍛えたスペック



 **PROSPEX**



GPS®
SOLAR

掲載商品に内蔵されているタイムゾーンのデータは、弊社ウェブサイトにてご確認ください。 www.seiko-watch.co.jp/gpstimezonedatainfo/ 「GPS」は、セイコーホールディングス(株)の登録商標です。

SEIKO



パーティーの
楽しさ広がる、
ルヴァン。



Levain
ルヴァン | CRACKERS

平成平成29年3月1日発行発行 通巻466号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.112